



2015・11・11

第 221 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

九条の会運動の新たな飛躍めざし決意新たに

2000 万人署名運動スタート

「戦争させない・9 条壊すな！総がかり実行委員会」をはじめ、「SEALDs」や「安保関連法に反対するママの会」など 29 の団体が呼びかけ団体となっている「戦争法の廃止を求める統一署名」運動が全国いっせいに始まりました。署名用紙には「取り扱い団体」の欄が設けられそれぞれの団体の名前が刷り込めるようになっています。

署名用紙は九条の会のホームページからもダウンロードできます。積極的にご活用ください。

参院選で野党共同を の声広がる

【茨城県連絡会】 「九条の会茨城県連絡会」の設立を記念するつどいが 11 月 1 日、つくば市で開かれ、会場を埋めつくした 1000 人余の参加者は「来夏の参院選で戦争法廃棄勢力を勝利させよう」と呼びかけたアピールを、満場の拍手で採択しました。

憲法学者で慶応大学名誉教授の小林節さんが来夏の参院選に言及し「『安倍ちゃん（首相）、気持ち悪い』という空気が日本中にまん延している。野党がまとまれば勝てる」と力を込め、元公明党副委員長の二見

鶴見俊輔さんの志を受けついで

九条の会講演会

—今、立憲主義と 9 条の危機に立ち向う

◇と き 11 月 13 日（金）

午後 6 時 30 分

◇ところ 東京千代田区 日本教育会館

◇お 話

よびかけ人 大江健三郎、澤地久枝

ゲスト

益川敏英さん（京都大学名誉教授）

森まゆみさん（作家）

◇参加費 前売 1200 円 当日 1500 円

伸明さんは「政党の中には共産党と共同すると保守層が逃げるといっている人がいるが、保守の人だって安保法（戦争法）に反対している」と指摘しました。

筑波大院生で SEALDs のメンバー、諏訪原健さんは「次の参院選でねじれをつくるために、野党が共同することが必要だ、ということを社会にアピールすることが大事」と訴えました。

医学生の子は「医療と命を脅かす安保法は本質的に相いれない」と主張。女子高

校生は「憲法をもっと勉強して、日本の平和が続くようにいろいろな活動をしていきたい」と語りました。

地域から共同の声盛りあげへ

【山形県置賜地域】 11月2日、山形県長井市で「戦争法を廃止する連絡会（仮称）」の準備会が開かれました。これには戦争法案反対運動を続けてきた置賜（おきたま）地域の3市5町から、各地の九条の会、戦争やんだ西置賜集会実行委員会、農民組織、市・町の平和センター、SEALDsの高校生ら約30人が参加し。「次は選挙で戦争法に賛成した議員を落選させ法律の廃止をめざそう」と話し合いました。12月12日に飯豊町に糸数慶子参院議員を招き、講演会をおこなうことが確認されました。

【滋賀県近江八幡市民の会】 滋賀県の「憲法9条を守る近江八幡市民の会」は11月3日、70人が参加して総会を開きました。呼びかけ人の奥野昭夫氏があいさつ。僧侶や福祉労働者、元衆院議員、教員、元市議らが安倍政権の悪政を告発し、戦争法の廃止を訴えました。「しーこぷ」の若者は「安倍政権をなくして、戦争法を廃止するには、野党が共闘するしかない。そのためには国民の多くの声が必要です。いっしょに声をあげましょう」と呼びかけました。

戦争法の廃止を求める全国2000万人署名に取り組むことなどが提起され、玉木昌美弁護士が「戦争法＝安保法制の廃止に向けて」と題して講演しました。

廃止求める世論と国会の追及結びつけ

【みやぎ憲法九条の会】 「憲法9条を

守り生かす宮城のつどい2015」が7日、仙台市で開かれ、1400人が参加しました。

講演では、森英樹名古屋大学名誉教授が、戦争法廃止を求める市民運動と国会の中で安倍政権を追及する活動とを連動させることを強調しました。また、ドイツ文学翻訳家の池田香代子さんは、「集団的自衛権行使容認の撤回と安保法制の廃止をめざし、あらゆる手だてを尽くそう」と訴えました。

若者が集まる音楽イベントでビラをまいた「仙南青年九条の会」や、現職・元職合わせて82人が参加した東北6県市町村長九条の会連合総会を開いた「首長九条の会」など、5つの九条の会が戦争法廃止の運動を報告し、頑張る決意を表明しました。

憲法公布69周年で決意新た

【かごしま九条の会】 かごしま九条の会は3日、憲法公布69周年講演会を開き、約150人が参加しました。

講演会では名古屋大学名誉教授の森英樹さんが「日本国憲法の底力！『戦後』を70年で終わらせないために」をテーマに講演。

講演後、戦争法廃止をめざし政党や団体、個人に次期参院選での協力を訴える「安保法制を許さず立憲主義を守る鹿児島会の結成と賛同がよびかけられました。

【九条の会福岡県連絡会】 3日、「憲法フェスタ」が開かれ、300人が参加。山口大学教授の瀬瀬厚さんは「平和を構築していくことが本当の抑止力。憲法は日本最高の『防衛的抑止力』」と講演しました。

集会トークで、核兵器廃絶をめざす高校生平和大使の加来優月さん（16）は「自然災害は人間の力では止められないが、人間

が生み出した戦争は止めることができる」と訴えました。福岡市の大学生ら若者でつくる安保法制廃止をめざす「FYM」のメンバーで大学4年の熊川果穂さん(22)は「平和への思いについて声をあげ続けてきた。今後は18歳ともつながりをもちたい」と語りました。

「安保関連法に反対するママの会」の宮下彩さん(36)は『「ママの会」』に加入し平和運動に取り組むお母さんたちと出会うことができたのはすばらしい」と話しました。

来年の参院選での野党共同の実現を

【こうち九条の会・女性「九条の会」高知】 両九条の会は3日、高知市で、慶応大学名誉教授の小林節さんを迎えて県民のつどいを開き、1200人が参加しました。小林さんは、日本共産党が提案する戦争法廃止の国民連合政府の重要性を力説しました。

こうち九条の会の呼びかけ人の一人、松尾禎之さんが「憲法が危機的な状況になっている、来年の参議院選挙で勝利しよう」とあいさつしました。

「安保法制はおかしいと思い、ネットを見て参加した香美市の男性(30)は、「憲法を無視する独裁政権を変えるには国民連合政府は間違いなく必要だ」と語りました。

【あいち九条の会】 あいち九条の会は3日、名古屋市公会堂で「愛知県民のつどい」を開きました。労働者や青年ら昨年を上回る1500人が参加、違憲の戦争法を廃止し9条を花開かそうと思いを共有しました。

同会代表世話人の内河恵一弁護士が「若者と手を携えて戦争国家ノーといいつづけることを誓い合いたい」と開会あいさつ。

青年3人が登壇。名古屋大大学院生は「安倍首相は海外から攻めてくるというが、その前に戦争法やTPPで私たちの生活を奪われ殺されてしまうのではないかと発言。

瀬戸市で林業を営む青年は「政治に興味を持ったきっかけは、自民党改憲草案。その後、秘密保護法、安保法が強行され、すごい危機感を感じる」と訴え、「デモに行き♪選挙に行き♪平和憲法を守りましょう」とコールすると大きな拍手に包まれました。

東京新聞論説委員の半田滋さんは講演で、「戦争法廃止のために参院選と衆院選で野党が勝たないといまの流れは変えられない。なんとしても一本化してほしい」と野党共同の必要性を強調しました。

発言は手話通訳され聴覚障害者の3人組は「若者のコールがいい。自分たちもデモに参加し続けたい」と笑みを浮かべました。

【岐阜・九条の会】 岐阜・九条の会や個人でつくる実行委員会の主催で、11月1日、「平和のつどい」が開かれ、1200人が参加しました。

実行委員長の平井花画さんのあいさつにつづき、代表呼びかけ人の一人で映画監督の神山征二郎さんは「中国の杭州に『日中不再戦』と書かれた元岐阜市長の松尾吾策氏の石碑がある。岐阜市民でいることを誇りに思う」と来賓あいさつしました。

同志社大学教授の浜矩子さんは「グローバル時代の救世主 日本国憲法」との演題でユーモアを交え講演しました。

市民参加の群読では、岐阜・九条の会代表呼びかけ人の一人、平方浩介さんが沖縄の歩みを創作した「命どう宝」を60人で読み、「さとうきび畑」を合唱しました。